

NO! リニア

No. 1 5 1

2022年9月25日

JR東海労働組合

JR東海労HP
にアクセス



大井川水問題パンフは問題だ! ④

**「検討しました」「関係者と協議して
まいります」は公表以前の話だ!
解決したかのような幻想を持たせる気か?**

リニアパンフの質問2は、「トンネル内に湧き出た水を大井川に戻せない期間があると聞きましたが、すべての水を戻さないと川を流れる水の量は減りませんか?」と書かれています。回答は「静岡工区内で湧き出る水は、全て大井川に戻します」とした上で、山梨県側に流れる水を戻すためのA案とB案が説明されています。

当初の計画で会社は、工事期間中に県外に流失する水を大井川に戻す気はなく、静岡県の指摘によりしぶしぶ変更したという経緯があります。この戻す案は決定ではありませんので、そもそもパンフに「検討しました」として案を載せること自体、住民に幻想を持たせようとしている意図があるのではないのでしょうか。

また、長野県側に流失する水については、山梨県側の案をもとに検討することから、全く手付かずの状況にあることが伺われます。

更に、回答の1つに「方策の実施に向けて検討を深めるとともに、関係者と協議してまいります」とあります。裏返せば、検討する課題は山積している、検討が深まっておらずまだまだ時間がかかる、ということです。関係者について例を出せば、田代ダムの件について、東京電力との協議がされていないにもかかわらず、一方的に取水制限を行うとぶち上げていることから、関係者との協議がスムーズに進むようには思えません。

これから検討に入る段階で、このような説明をされたところで、何も説得力がないと言っても過言ではありません。